

熊本県感染症情報（第33週：8/11～8/17）

大雨による浸水家屋や事業所の清掃、乾燥及び消毒について

- 大雨により浸水が起きた場合、感染症の発生及び感染拡大のリスクが高まるため、家屋等を十分に洗浄し、しっかりと乾燥させた後に消毒する必要があります。
- 消毒に消石灰を使用する場合は、肌や目に触れると炎症を起こすため注意が必要です。消石灰の散布後は、飛散しないようジョウロ等で軽く水を撒いて、表面の消石灰を固めてください。消石灰は、水に触れると発熱するので注意してください。

【参考】消毒等に関する問合せ先はこちら
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/243420.html>



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に注意しましょう

- 今週（第33週）の報告数は1件で、今年の累計は9件となりました。過去最高値である令和3年（2021年）の年累計と同報告数であり、注意が必要です。
- SFTSは、病原体を保有するマダニに咬まれることで感染します。森林や草地などマダニが多く生息する場所に入る際は、「肌を露出しない服装をする」「虫よけ剤を使用する」など、マダニに咬まれないよう十分な対策を行いましょう。

SFTSの報告数



1 定点把握対象疾患

※県内154定点医療機関からの報告数：8/11～8/17

定点	No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	1	インフルエンザ	5	9
	2	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	600	776
	3	急性呼吸器感染症(ARI)	2,456	3,804
小児科	4	RSウイルス感染症	↑ 11	10
	5	咽頭結膜熱	↑ 10	6
	6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	49
	7	感染性胃腸炎	105	260
	8	水痘	7	13
	9	手足口病	7	19
	10	伝染性紅斑 (りんご病)	57	76

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	11	突発性発しん	18	32
	12	ヘルパンギーナ	35	73
	13	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0	1
眼科	14	急性出血性結膜炎	0	0
	15	流行性角結膜炎 (はやり目)	↑ 8	6
基幹	16	細菌性髄膜炎	0	1
	17	無菌性髄膜炎	1	1
	18	マイコプラズマ肺炎	17	29
	19	クラミジア肺炎	0	0
	20	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

①	疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
				1	2	3			
①	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	600件	776件	人吉	宇城	有明	80歳以上	99件	16.5%
②	感染性胃腸炎	105件	260件	山鹿	有明	菊池	1歳	24件	22.9%
③	伝染性紅斑	57件	76件	菊池・宇城	熊本		4歳	14件	24.6%

感染症予防のためには

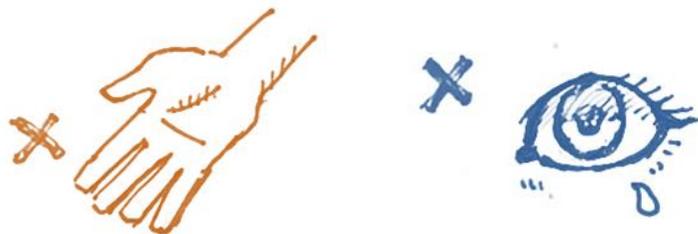
清掃と乾燥が 最も重要です

消石灰の取扱いに注意

肌や目を痛めるため、
使用には十分な注意が必要です

消石灰は、アルカリ性であり、肌や目に触れると炎症を起こします。
特に、まいた消石灰が飛散して目に入ると、大変危険です。

目に入った場合、失明する恐れがあるため、すぐに大量の水で洗い流し、医療機関を受診しましょう。



消石灰を素手で触ったり、目に入れないよう注意



浸水した家屋の感染症対策

家屋が浸水した場合は、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかるおそれがあるため、清掃が大切です！！

清掃の時の注意事項

● ドアと窓をあけて、しっかり換気

数日して自宅に戻るときは、屋内にカビが発生していることがあります

● 汚泥は取り除き、しっかり乾燥

消毒薬を使用する場合は、汚れを取りのぞいた上で使用しましょう
きちんと乾燥させれば、基本的に細菌やカビの繁殖はおさえられます

● 清掃中のケガ予防に手袋を着用

● ほこりを吸わないようにマスクを着用

● 清掃が終わったらしっかり手洗い

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

浸水した家屋の感染症対策

- 感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！
- **屋外（床下や庭）の消毒は原則不要**です

消毒の手順

消毒の前に十分清掃しましょう！

- ① ほこりから目や口を保護するため、**ゴーグル・マスク**を着用
- ② 清掃中のケガ予防に、**手袋・底の厚い靴**などを着用
- ③ ドアと窓をあけて、**しっかり換気**
- ④ 汚泥は**十分に**取り除き、**しっかり乾燥**
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！

主な消毒液と使用方法

- **ゴム手袋・長靴、ゴーグル等を着用して作業しましょう！**
- **次亜塩素酸ナトリウム**
汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います
- **アルコール、塩化ベンザルコニウム**
色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ① 洗剤と水で洗う。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。

浸水した家屋の消毒手順

消毒液の希釈方法

- 薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて（希釈して）使用するものがあります。使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

0.1%希釈の簡易的な方法

消毒液
コップ100cc

10%消毒液であれば…
コップ1杯 (100cc)を入れて、水 (**10ℓ**) を入れる

バケツ (**10ℓ**) を使用する場合

キャップ2杯
※キャップ1杯 (4~5cc)

10%消毒液であれば…
ペットボトルのキャップ**2杯**を入れて、水 (**1ℓ**) を入れる

ペットボトル (**1ℓ**) を使用する場合

0.02%希釈の簡易的な方法

キャップ1杯 (4~5cc)

10%消毒液であれば…
ペットボトルのキャップ**1杯**を入れて、水 (**2ℓ**) を入れる

ペットボトル (**2ℓ**) を使用する場合

清掃・消毒作業が終わったら

- 作業が終わったら**しっかり手洗い**
- ケガをした場合は**しっかり洗浄、消毒**
- 深い傷や汚れた傷**、目を洗浄しても充血する場合は**医師に相談**
- 消毒薬の使用後は、よく乾燥させてください

浸水家屋等の清掃・消毒について

浸水が起きた場合、家屋等が汚染された可能性があります。感染症の予防のため、家屋等を清掃し十分に汚れを取り除いた後に消毒を行いましょう。

1．清掃時の注意点

- ・室内を乾燥させるため、できる限り換気をします。
- ・けがの防止のために厚手のゴム手袋、ゴム長靴（あればゴーグルもつける）ほこりを吸い込まないためマスクを着けて清掃します。
- ・（堅い）床、壁、金属部分、調理台、シンクなどは水と石けん（洗濯石けんや食器用洗剤）で洗い流し、泥や破片を取り除きます。高圧洗浄機を用いると効果的に洗浄できますが、その際は、必ずマスクを着用し、換気に気をつけます。
- ・食器類や調理器具などは、きれいに汚れを洗い流した後、家庭用塩素系漂白剤に浸し、熱湯で消毒します。
- ・浸水した衣類、布類は熱水洗濯、あるいは80℃の熱水に10分以上漬けた後洗濯し、乾燥させます。

2．消毒時の注意点

- ・消毒薬は、必ず泥や汚れを取り除き、乾燥した後で使用します。清掃、乾燥が不十分だと、効果を発揮できません。
- ・消毒薬を取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、ゴム手袋などを使用し、必要に応じメガネやマスクを着用するなど、皮膚や目にかからないように注意します。

3．その他

- ・清掃、消毒の作業後は、石けんを使い手を洗います。



1. 消毒薬の使い方

消毒薬は、使用方法を守って使いましょう。

消毒薬	使用方法
次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも可）	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>屋内</u>（汚水に浸った壁面や床、家財道具） 0.1%に希釈し、調整液を含ませた布などでよく拭く。 ・<u>食器類、流し台、浴槽</u> 0.02%に希釈し、調整した液に5分間漬けるか、調整した液を含ませた布で拭き、その後、水洗い、水拭きをする。 使用場所によっては色褪せするため、気になる場合は、他の消毒薬を使用する 金属は腐食するため、使用后、十分に水拭きする。
消毒用アルコール	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>屋内</u>（汚水に浸った壁面や床、家財道具）<u>食器類、流し台、浴槽</u> 希釈せずに、アルコールを含ませた布などでよく拭く。 火気のある所では使用しない
逆性石けん（ベンザルコニウム塩化物）	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>屋内</u>（汚水に浸った壁面や床、家財道具）<u>食器類、流し台、浴槽</u> 0.1%に希釈し、調整液を含ませた布などでよく拭く。
クレゾール石けん	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>屋外</u>（し尿槽や下水があふれた場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下） クレゾール石けん液を3%（33倍）に希釈し、噴霧器やジョウロで散布する。壁面は、消毒液を含ませた布などでよく拭く。 希釈液が濁って沈殿物ができる場合は、上澄みを使う。
消石灰	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>屋外</u>（し尿槽や下水があふれた場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下） 水が引いてから、浸水した床下・家の周囲等に、まんべんなく表面が白く覆われる程度の量（300g/m²）を散布し、風通しを良くして乾燥させる。乾いた場所に使用する場合は、散布した消石灰が飛散しないよう、ジョウロ等で軽く水をまいて、表面の消石灰を固める。 消石灰はアルカリ性であり、肌や目に触れると炎症を起し、飛散して目に入ると大変危険である。 また、消石灰は水に触れると発熱するので注意する。

森・草むら・公園などに
生息しています



※マダニ拡大イメージ

その

マダニ

ウイルス

をもっているかも？

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

SFTS とは

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれて感染するダニ媒介感染症です。

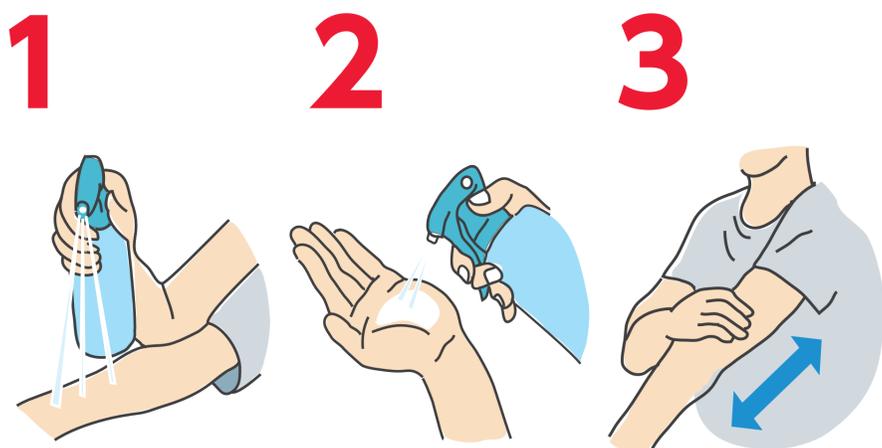
春と秋は、特に注意!

※5月と10月の感染者数が多いです。

近年
増加中!!

効果的な対策

虫よけ剤を正しく使う



腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。

顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。

塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

肌を露出しない服装



虫よけ剤はムラなく
しっかり塗りましょう!!

※室内外で飼育する愛玩動物による家屋内持ち込みにも注意が必要です

マダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



アース製薬

熊本県ダニ媒介感染症
情報はコチラ▶



熊本県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全安心で健康な暮らしに関する取り組みを進めています。

【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	第30週	第31週	第32週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	6/23~ 6/29	6/30~7/6	7/7~7/13	7/14~ 7/20	7/21~ 7/27	7/28~8/3	8/4~8/10	8/11~ 8/17	7/21~ 7/27	7/28~8/3	8/4~8/10
インフルエンザ	22 0.30	11 0.15	6 0.08	6 0.08	5 0.07	12 0.17	9 0.13	5 0.07	1,223 0.32	1,153 0.30	1,131 0.30
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	137 1.88	208 2.85	274 3.81	400 5.56	565 7.85	690 9.58	776 10.78	600 8.33	15,924 4.12	21,365 5.53	23,126 6.13
急性呼吸器感染症 (ARI)	3,256 44.60	3,455 47.33	3,417 47.46	3,534 49.08	3,299 45.82	3,639 50.54	3,804 52.83	2,456 34.11	185,656 48.20	202,888 52.82	198,058 52.49
RSウイルス感染症	4 0.08	0 0.00	1 0.02	12 0.25	6 0.13	7 0.15	10 0.21	11 0.23	1,239 0.53	1,629 0.69	1,976 0.86
咽頭結膜熱	33 0.67	22 0.45	19 0.40	15 0.31	11 0.23	13 0.27	6 0.13	10 0.21	1,061 0.45	1,041 0.44	970 0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59 1.20	59 1.20	56 1.17	44 0.92	34 0.71	37 0.77	49 1.02	20 0.42	3,775 1.60	4,221 1.79	4,009 1.74
感染性胃腸炎	324 6.61	284 5.80	294 6.13	248 5.17	181 3.77	226 4.71	260 5.42	105 2.19	9,880 4.19	11,236 4.77	10,572 4.59
水痘	29 0.59	9 0.18	13 0.27	13 0.27	17 0.35	8 0.17	13 0.27	7 0.15	799 0.34	722 0.31	593 0.26
手足口病	21 0.43	37 0.76	24 0.50	25 0.52	15 0.31	13 0.27	19 0.40	7 0.15	1,380 0.59	1,474 0.63	1,335 0.58
伝染性紅斑	57 1.16	51 1.04	42 0.88	45 0.94	77 1.60	84 1.75	76 1.58	57 1.19	4,423 1.88	4,583 1.95	4,756 2.07
突発性発しん	28 0.57	33 0.67	38 0.79	36 0.75	30 0.63	21 0.44	32 0.67	18 0.38	785 0.33	795 0.34	793 0.34
ヘルパンギーナ	159 3.24	209 4.27	194 4.04	240 5.00	144 3.00	152 3.17	73 1.52	35 0.73	3,852 1.63	4,517 1.92	3,880 1.69
流行性耳下腺炎	4 0.08	3 0.06	2 0.04	3 0.06	1 0.02	3 0.06	1 0.02	0 0.00	125 0.05	104 0.04	112 0.05
急性出血性結膜炎	0 0.00	1 0.11	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	10 0.01	9 0.01	16 0.02
流行性角結膜炎	15 1.67	10 1.11	17 1.89	13 1.44	17 1.89	10 1.11	6 0.75	8 0.89	580 0.83	630 0.90	570 0.86
細菌性髄膜炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.07	0 0.00	4 0.01	12 0.02	9 0.02
無菌性髄膜炎	1 0.07	0 0.00	0 0.00	1 0.07	0 0.00	0 0.00	1 0.07	1 0.07	32 0.07	41 0.09	26 0.05
マイコプラズマ肺炎	15 1.00	29 1.93	33 2.20	25 1.67	26 1.73	24 1.60	29 1.93	17 1.13	401 0.83	478 0.99	590 1.23
クラミジア肺炎	0 0.00	4 0.01	1 0.00	2 0.00							
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0 0.00	9 0.02	1 0.00	2 0.00							

※ 上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

(※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報には1週間までの内容になります。)

伝染性紅斑 : 熊本市、菊池、宇城

ヘルパンギーナ

2 全数把握対象疾患

	疾患名	今週	R7累計
2類感染症	結核	1	134
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	46
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1	9
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9
	後天性免疫不全症候群	1	7
	梅毒	3	123
	百日咳	15	811

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R7累計報告数は増減します。

報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

○インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) ※2024/25シーズン(R6.9/2~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	3件	0件	1件	0件

○呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
21件 (11件)	3件 (0件)	8件 (6件)	6件 (0件)	4件 (0件)	2件 (0件)
アデノウイルス	その他				
11件 (0件)	6件 (0件)				

(※カッコ内は昨シーズン累計)

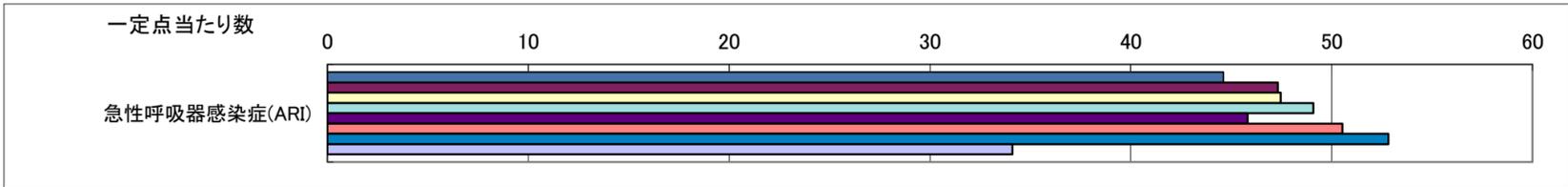
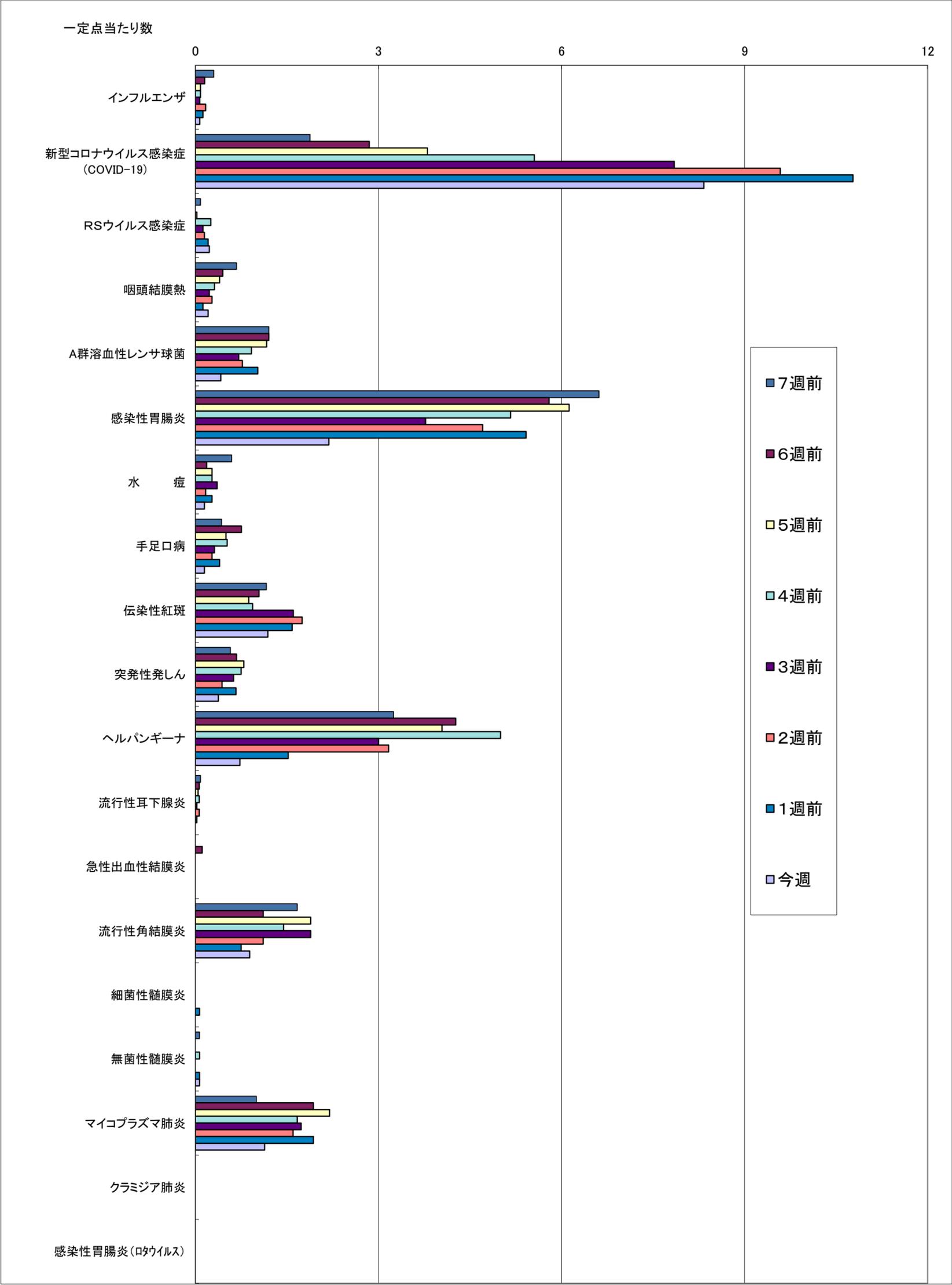
○感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30~)からの累計

ノロウイルス	サポウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

(※カッコ内は昨シーズン累計)

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096-333-2240 (内33154)

一定点当たり週別発生状況の推移



保健所別発生状況 (急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	4	180	1,032	4	7	9	39	2	2	26	9	10	0	0	4	0	1	12	0	0
2 山鹿保健所	0	10	30	1	0	0	8	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
3 菊池保健所	0	14	266	2	1	1	14	2	0	10	2	4	0	0	1	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	1	13	40	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	0	22	48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	0	31	188	0	2	2	3	1	1	4	5	4	0	0	1	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	0	24	142	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
8 人吉保健所	0	80	278	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	0	102	233	1	0	2	18	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0
10 宇城保健所	0	77	121	3	0	5	11	0	1	8	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	0	47	78	0	0	1	2	0	3	6	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	600	2,456	11	10	20	105	7	7	57	18	35	0	0	8	0	1	17	0	0

保健所別 一定点当り患者報告数 (急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	0.17	7.50	43.00	0.27	0.47	0.60	2.60	0.13	0.13	1.73	0.60	0.67	0.00	0.00	0.80	0.00	0.20	2.40	0.00	0.00
2 山鹿保健所	0.00	5.00	15.00	0.50	0.00	0.00	4.00	0.50	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00	-	-	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
3 菊池保健所	0.00	2.00	38.00	0.40	0.20	0.20	2.80	0.40	0.00	2.00	0.40	0.80	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 阿蘇保健所	0.33	4.33	13.33	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5 御船保健所	0.00	4.40	9.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 八代保健所	0.00	4.43	26.86	0.00	0.50	0.50	0.75	0.25	0.25	1.00	1.25	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 水俣保健所	0.00	12.00	71.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	-	-	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
8 人吉保健所	0.00	16.00	55.60	0.00	0.00	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9 有明保健所	0.00	14.57	33.29	0.20	0.00	0.40	3.60	0.20	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
10 宇城保健所	0.00	15.40	24.20	0.75	0.00	1.25	2.75	0.00	0.25	2.00	0.25	0.75	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11 天草保健所	0.00	9.40	15.60	0.00	0.00	0.25	0.50	0.00	0.75	1.50	0.25	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均	0.07	8.33	34.11	0.23	0.21	0.42	2.19	0.15	0.15	1.19	0.38	0.73	0.00	0.00	0.89	0.00	0.07	1.13	0.00	0.00

年齢別発生状況(急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

令和7年第33週

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	600	4	11	15	8	2	5	4	3	5	5	5	26	24	46	51	67	69	85	66	99

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0歳	1~4 歳	5~9 歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症(ARI)	2,456	158	763	460	173	70	90	115	110	107	137	108	165

小児科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	11	3	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	10	0	2	1	2	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	20	0	0	0	0	2	7	4	0	0	4	0	2	1	0
感染性胃腸炎	105	2	8	24	10	6	9	10	6	6	2	1	10	2	9
水痘	7	0	2	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
手足口病	7	0	1	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	57	0	1	0	3	9	14	11	7	3	4	2	3	0	0
突発性発疹	18	3	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	35	0	2	9	6	6	4	3	2	0	0	1	1	0	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	8	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	17	0	5	5	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

熊本県感染症情報 (7月分：6/30～8/3)

疾患別・保健所管内別発生状況

No.	定点把握対象疾患	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)											計
		熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	
1	性器クラミジア感染症	78	0	3	0	5	3	0	0	1	4	0	94
	一定点当たり患者報告数	13.0	*	1.5	*	5.0	1.5	*	0.0	0.5	4.0	0.0	5.9
2	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0	9	0	0	3	0	0	4	4	0	34
	一定点当たり患者報告数	2.3	*	4.5	*	0.0	1.5	*	0.0	2.0	4.0	0.0	2.1
3	尖圭コンジローマ	7	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	11
	一定点当たり患者報告数	1.2	*	0.0	*	0.0	0.5	*	0.0	0.5	2.0	0.0	0.7
4	淋菌感染症	23	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	25
	一定点当たり患者報告数	3.8	*	0.0	*	1.0	0.0	*	0.0	0.0	1.0	0.0	1.6
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	12	3	1	0	0	0	2	3	2	0	1	24
	一定点当たり患者報告数	2.4	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	2.0	0.0	1.0	1.6
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	一定点当たり患者報告数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1
7	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	一定点当たり患者報告数	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1

※No.1～4：STD定点(16医療機関)、No.5～7：基幹定点(15医療機関)

7疾患のグラフ

